（参考）

公　表

第 43 回技能五輪全国大会「情報ネットワーク施工」職種競技課題

競技課題は、以下に示す宅内配線施工課題、構内配線施工課題の 2 課題から構成される（選択作業有り※）。なお、課題は競技当日にその内容の 30%の範囲内で変更を加えるものとする。

1．競技時間

10 月 29 日（土曜日）
構内配線施工課題：10:00～16:00（標準時間）　その後 30 分の打切時間有り

10 月 30 日（日曜日）
宅内配線施工課題：10:00～12:00（標準時間）　その後 30 分の打切時間有り

2．課題の詳細

宅内配線施工課題

- **情報用分電盤を設置する。**
- **定められた数の情報用コンセント及び光コンセントを設置する。**
- **情報用分電盤と情報用コンセント間で定められた数の LAN、ＴＥＬ及びＴＶケーブルの配線・成端を行う。また、配線後に導通検査を行う。**
- **施工チェック表に必要事項を記入・提出する。**

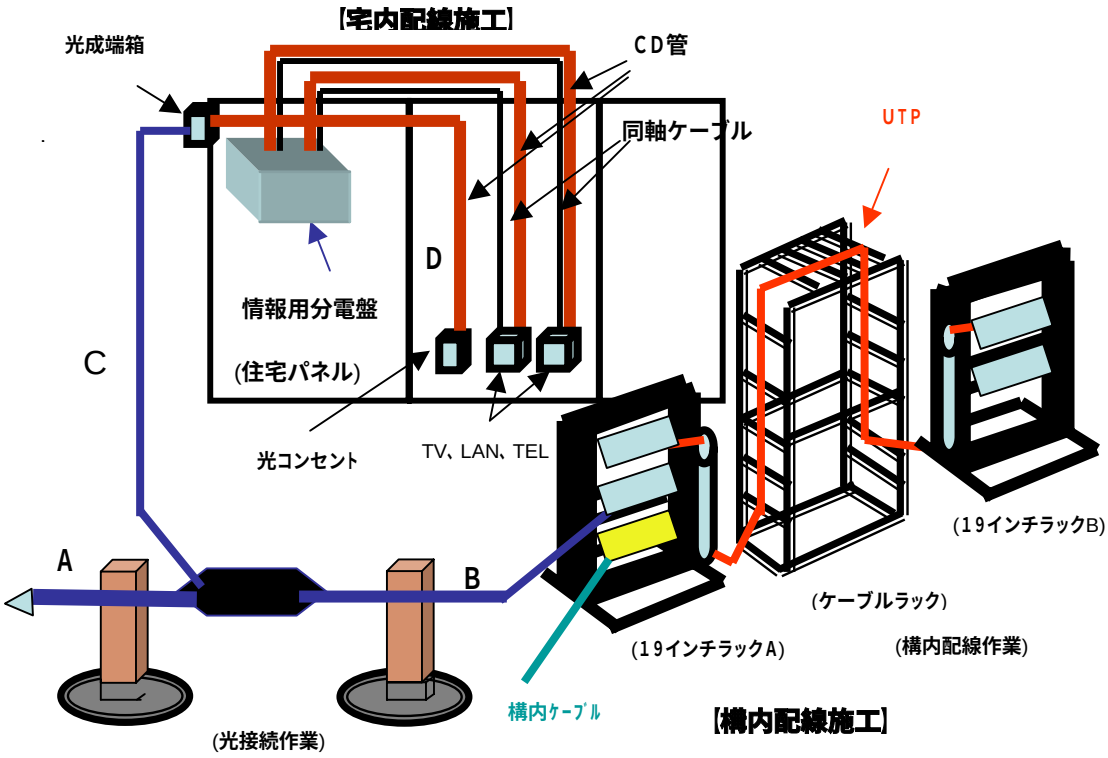
構内配線施工課題

(1)構内配線作業

- **19 インチラックＡと 19 インチラックＢ間の配線を行う。**
- **UTP ケーブルの両端は、12 ポート成端する。**
- **19 インチラック用光成端箱を 19 インチラック A に取り付ける。**
- **光ケーブルＢを 19 インチラック用光成端箱に収納し、現場組立型 SC コネクタにより成端（12 個）する。また、余剰心線は適切な処理を行う。**
- **19 インチラックＡに多対ケーブルを引き込み、110 成端（50 対）する。**
- **特性試験を行い、試験成績書に記入・提出する。**

(2)光接続作業

- 光接続箱の組立を行う。
- 光ケーブルAと光ケーブル B を光接続箱内で融着接続する。接続する線番は表1を参照のこと。
- 光ケーブルAと光ケーブル C を光接続箱内で融着接続する。接続する線番は表1を参照のこと。
- 屋外光成端箱を住宅ブース外壁取り付け、光ケーブルCと光ケーブルDをメカニカルスプライス接続する。なお、光ケーブルDは光コンセント位置まで通線しておくこと。接続する線番は表2を参照のこと。
- 指定されたポート間の光損失測定を行い、試験成績書に記入･提出する。
- 各融着接続における推定損失を試験成績書に記入･提出する。

※ 選択作業･･･成端数など加点方式による加点の対象とする。その対象項目は後日公開する。

「情報ネットワーク配線施工」配線イメージ図（案）